

湖畔の風

★令和6年度交通安全推進モデル地区に

令和5年度の花巻市内の交通事故は151件（前年比+26件）死者1人でした。また、依然として高齢者が関係する交通事故が約半数を占めるなど憂慮される状況です。

このようなことから、交通事故防止対策を適切に推進するため、花巻市交通安全対策協議会は毎年コミュニティ会議を対象に交通安全推進モデル地区を指定しています。

令和6年度は田瀬地域コミュニティ会議が交通安全推進モデル地区として指定されました。

期間は令和6年4月23日から令和7年3月31日までです。

地区内の皆様には、薄暮時・夜間のライトの早めの点灯・原則上向き走行など交通事故に十分注意して運転していただきますようよろしくお願いいたします。



★登山道整備

砥森山登山道の整備が行われました。毎年GWの前に実施され、今年も4月26日（金）に作業を行いました。倒木除去や登山道周辺の草刈りをし、登山者などが安全に通行できるようにしました。

頂上では、皆で登山者の安全を祈願してきました。

作業中にも数人の登山客があり、砥森山登山の愛好家がいるようです。

今後は、作業道と貞任の隠れ岩の周辺の整備も行う予定ですので、地区の皆さんも安心して登山や山菜取りを楽しんでいただきたいと思います。



★令和6年度第1回資源ゴミ搬送

昨年度より、業者が回収を行わなくなったため、田瀬地域資源回収推進協議会は資源ゴミを回収業者（㈱エコ 北上市）まで搬送作業をしております。年3回予定しており、今年度第1回の搬送が4月12日（金）に行われ、資源ゴミの量は次の通りです。

紙類 3,100 kg 金属 93 kg ピン 158 本 アルミ 250 kg

皆様のご協力ありがとうございました。

これらの代金と補助金は、各自治会に分配されます。

次回の搬送日は8月6日（火）になります。今後とも、ご協力をお願いいたします。



第11回田瀬湖一斉清掃&ごみ川柳大会

4月21日(日)東和B&G海洋センターを会場に第11回田瀬湖一斉清掃&ごみ川柳大会が開催されました。

参加者は97名(うち田瀬住民34名)。大高瀬(遠野市)と田瀬大橋付近、ダム堰堤方面、小倉地区に別れてゴミの回収を行いました。今年は、昨年秋にたくさんのゴミが流れ着いたこと、ゴミの収集場所を増やしたことにより、多くのゴミが回収されました。

ゴミの量は、総合計が1,160kg、内訳は可燃ゴミ420kg、不燃ゴミ740kgでした。

その後、ゴミ川柳大会がおこなわれ、入選者には各団体より記念品が贈られました。入選された方は次のとおりです。(選者・遠野川柳会)



大高瀬で集められたゴミ
例年よりずいぶん多く、タイヤ
などの粗大ごみの量も多かった

ごみ川柳 入選作品



- | | |
|---|---|
| <p>田瀬振興公社A賞
ごみあつめてその地のくらしよくわかる
田瀬振興公社B賞
春湖畔流れ来て積むゴミばかり
B&G東和海洋センターA賞
ゴミ拾い海へ還れる山にする
猿ヶ石川漁業協同組合賞
ゴミ拾いふと視線(め)を移せばスマレ居り
遠野風の丘賞
ごみ拾う人間(ひと)の罪業田瀬にわび
上猿ヶ石川漁業協同組合賞
新緑の足もとゴミがあふれてる
たかむろ水光園賞
ゴミ浮かぶ田瀬湖みつめて浮く涙
森田酒店A賞
おおぜいでごみのふくろがやくいっとな
森田酒店B賞
熊も泣くふえるプラゴミ減るエサ場
柏木平レイクリゾートA賞
お散歩でごみと一緒に拾う運
柏木平レイクリゾートB賞
古希のダム喜寿にはゴミがないがいい
岩手南部森林管理署遠野支署賞A賞
また一つゴミを拾おう未来(さき)のため
岩手南部森林管理署遠野支署賞B賞
田瀬ダムのゴミがなくなり風そよぐ
田瀬地域コミュニティ会議賞
コロナあけ宴の数だけゴミが増え
町井サイカチとカブト虫の里管理組合賞
欲がでる豪華賞品ゴミ拾い</p> | <p>(薄衣 忠孝)
(太田 睦)
(朝倉 正博)
(高森 一繁)
(中嶋 有未)
(雪下 清規)
(佐藤 俊延)
(小松 航)
(横山 ひとみ)
(梅村 哲子)
(小田島 功二)
(佐々木 洋平)
(佐々木 明子)
(小田島 亮)
(五十嵐 郁子)</p> |
|---|---|

「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとする大阪万博は、来年4月13日から大阪夢洲（ゆめのしま）で開催されますが、工事期限や参加国など心配材料が多くあります。

さて、日本の万博はというと第1回内国勸業博覧会として、東京の上野公園で開催されました。それは今から148年前の明治10年（1877）のことでした。西郷隆盛が苦渋の選択で起こした西南戦争の年であります。その西郷の親友・大久保利通が4年前の明治6年に開催されたウイーン万国博覧会に日本が初めて参加し、感銘を受けたので日本の殖産興業のために開催したものでした。

それまでもこれに似たような博覧会が開催されていましたが、いわば珍品・貴品の類の見世物的な博覧会でした。大久保はこれを否定し、欧米からの技術と日本の技術を博覧する産業奨励会としての格付けとしました。

そんな大きな博覧会に田瀬から「砥石」を出品した男がいました。この発端は、今から30年ほど前、東和町役場からの問い合わせでした。「田瀬から砥石を出品した人がいるという、誰かわかりませんか？」というものでした。

確かに昔、砥森山では砥石を採っていたという話は聞いたことがありますが、みんなで採っていたので誰と特定することはできませんでした。今では各地で良品が商品化されて誰も採る人はいないということで、似たような石はあるがどこが採石所かもわかりませんでした。

砥石は、今から2億年も前、海の中でプランクトンが堆積して、それが地殻変動で隆起して山となり地表に出たものだそうだから、田瀬は昔、海だったのでしょ。

遠く奈良時代の『正倉院文書』に青砥という砥石を指す文字があるそうで、千年も前から砥石は重宝されていたと思われます。年貢の代わりに砥石を納めた時代もあったということです。その砥石が、日本の第1回の博覧会に出品され、それも田瀬から出されたことに驚きました。

30年前の記憶を頼りに、田瀬から砥石を出品した人物探しにとりかかりました。数年前に筆者は住職を弟子に譲っていたから時間的余裕は誰にも負けないくらいありました。早速、資料探しにかかりました。明治10年の『岩手県管轄地誌』によれば、田瀬の特産は栗、鮎、鰻、馬、藍、濁り酒、木炭、砥石と記載がありました。とすれば田瀬から砥石を出品した人がいたことは間違いありません。次に『明治前期産業発達史資料』なるものを目にすることができました。その中の第7集に、第1回博覧会に出品されている「砥石」の目録がありました。

（次号に続く）



砥石採石場（白土地区） 令和2年5月26日撮影



砥石の原石

🐼 田瀬釣り公園 オープン 🐼

田瀬釣り公園、今年度の営業を開始しました。4月末からのゴールデンウィークには、つり体験やオートキャンプ場がにぎわっていました。今年度はレストランの営業も行っております。

営業時間 9:00~18:00 (～10月31日まで)

定休日 月曜日

詳しくは下記まで、お問い合わせください。

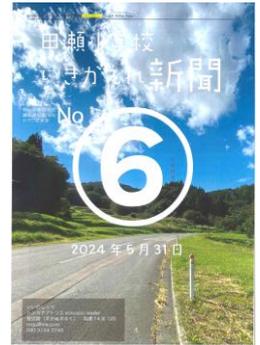
住所 〒028-0123 岩手県花巻市東和町田瀬 10区 138



◎ 田瀬小学校いしかえれ ワイガヤ会議 ◎

田瀬において、アート制作を行っている菅沼緑さんがいいだしっぺになって、3月より第1回、2回と開催されている「ワイガヤ会議」。第3回の日程が決まりました。全戸に配布の新聞に詳しく書かれていますが、協力できる方、関心のある方ぜひぜひご参加ください。

実行委員会を立ち上げて、少しずつ進めていくところです。近いうちに旧保育所庭園に菅沼緑さんの作品等を展示するワークショップなど計画をしています。第3回ワイガヤ会議 6月8日(土)午後1時30分～田瀬振興センター



6月の行事予定

- 各部会
- 教振・生涯学習推進委員会 6月12日(水)
- ふれあい昼食会 6月26日(水)
- 花巻市防火訓練 6月30日(日)

7月の行事予定

- 世代間交流グランドゴルフ大会
- 成島和紙ランプシェード講座
- 田瀬湖湖水まつり
- 市民と議会の懇談会



諸事情により、変更になることがあります。ご了承ください。

田瀬地区の人口

(令和6年4月末現在)

※花巻市住民登録人口集計表を基に作成しています。

行政区	世帯数	人数			比較 (3月末)
		男	女	計	
田瀬第1	69	79	88	167	2人増
田瀬第2	31	34	35	69	—
田瀬第3	72	69	83	152	4人減
計	172	182	206	388	2人減



すべてのお問合わせ先

田瀬地域コミュニティ会議 事務局電話 44-5281まで